

## 2022 年度前期特定機能病院監査報告書

－慶應義塾大学病院－

2022 年 4 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日までの 2022 年度前期の慶應義塾大学病院（特定機能病院）監査委員会（以下「監査委員会」という）における監査結果を以下のとおり作成したので報告する。

### 1. 監査の概要（方法及びその内容）

医療法施行規則第 15 条の 4 の 2 に規定される監査委員会として、慶應義塾が設置する監査委員会において管理者等からの報告に基づき、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染制御部門等の業務を監査した。監査対象となる責任者、部門、委員会については、業務の執行状況等について 2023 年 2 月 27 日に開催した監査委員会において、当該担当者等から資料の提出及びに報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

#### ≪監査項目≫

- 1) 医療安全管理部門について
- 2) 医療安全管理委員会について
- 3) 医薬品の安全管理について
- 4) 医療機器の安全管理について
- 5) 医療放射線安全管理について
- 6) 感染制御部門について
- 7) その他必要と思われる事項

### 2. 監査結果

監査委員会において、2022 年度前期における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染対策運営委員会等の業務の状況等について審議した結果、医療に係る安全管理が適切に実施されていることを確認した。

### 3. その他意見、提案事項等

- ・インシデント・アクシデント報告に関する研修医に対する取組は評価できる。全体報告数や医師報告数はここ数年横ばいであり、特定機能病院とし

- ては、全体の報告数が増えるよう検討いただきたい。また、初期研修医以外の若手医師における報告数を増やす試みをしていただきたい。
- 医療事故の報告に関して、医療事故調査・支援センターへの報告までに日数を要している。速やかに報告するよう努めていただきたい。
  - インフォームド・コンセントに関する看護師の同席ルールが設定されており、評価できる。今後はその実態を把握し、示していただきたい。
  - 病棟薬剤師の配置が優れた効果を上げていることが確認できた。病棟薬剤師と看護師との連携によって、具体的にどのように診療内容の改善に繋がったのか、今後は数値を含め報告いただきたい。
  - 患者さんへの CT 被ばくの説明文書がより一層わかりやすくなるよう検討いただきたい。
  - 手指衛生の遵守率が 80%を超えておらず、今後、新型コロナ蔓延が収まるとさらに手指衛生の遵守率が低下すると懸念される。手指衛生は感染対策の基本であり、医療者だけでなく患者さんへの教育にもつながる大きな行動であることを認識していただき、常に手指衛生が行われるよう努めていただきたい。
  - ワクチンの接種率については、数字の可否を議論することは難しいが、重要な項目であるため、引き続き動向をご報告いただきたい。

慶應義塾大学病院特定機能病院監査委員会

2023 年 4 月 18 日

委員長	山口	徹
委員	市村	尚子
委員	中谷	比呂樹
委員	宮沢	忠彦
委員	山口	育子